

## 9.5. 普遍文法の構築を目指して

### 9.5.1. 何を問題にすべきなのか

- (1) a. FD という連繋が文法に存在すると主張するのか。  
b. ID という連繋が文法に存在すると主張するのか。
- (2) a. なぜ  $FD(\alpha, \beta)$  は、 $\alpha$  が LF において  $\beta$  を c-command していなければ成り立たないのか。  
b. なぜ  $ID(\alpha, \beta)$  は、 $\alpha$  が PF において  $\beta$  に先行していなければ成り立たないのか。
- (3) a.  $\alpha$  が LF において  $\beta$  を c-command していなければ成り立たないような連繋  $R(\alpha, \beta)$  が文法に存在すると主張するのか。  
b.  $\alpha$  が PF において  $\beta$  に先行していなければ成り立たないような連繋  $R(\alpha, \beta)$  が文法に存在すると主張するのか。
- (4) a. なぜ  $\alpha$  が LF において  $\beta$  を c-command していなければ成り立たないような連繋  $R(\alpha, \beta)$  は、 $\alpha$  が LF において  $\beta$  を c-command していなければ成り立たないのか。  
b. なぜ  $\alpha$  が PF において  $\beta$  に先行していなければ成り立たないような連繋  $R(\alpha, \beta)$  は、 $\alpha$  が PF において  $\beta$  に先行していなければ成り立たないのか。
- (5) a. c-command という関係が文法の基本概念(primitive concept)であると主張するのか。  
b. 「先行」という関係が文法の基本概念であると主張するのか。
- (6) a.  $large\ NP / small\ NP$  という区別が文法の基本概念であると主張するのか。  
b. A-type QP / B-type QP という区別が文法の基本概念であると主張するのか。
- (7) 同じ結果 (= 説明力) が得られるならば、仮定する基本概念は少ないほどよい。  
その違いを別のことから導き出せるならば、その区別を基本概念とする必要はない。  
どうしてその仮定が必要なのか見当がつかなくても、その違いを別のことから導き出せない間は、それを仮定しておくほかない。
- (8) 文法というメカニズムから見た場合、文は「適格な文」か「不適格な文」かのどちらかではない。  
容認可能性の微妙なゆれは、文法のメカニズムそのもので説

明するべきものではない。

容認可能性の微妙なゆれに關与しているだけの要因は、文法の基本概念でない可能性が高い。

- (9) a. なぜ  $large\ NP$  は、 $FD(\alpha, \beta)$  の  $\beta$  には不適切なのか。  
b. なぜ A-type の QP は、 $ID(\alpha, \beta)$  の  $\alpha$  になれないのか。
- (10) a. なぜ  $large\ NP$  は、 $\alpha$  が LF において  $\beta$  を c-command していなければ成り立たないような連繋  $R(\alpha, \beta)$  の  $\beta$  には不適切なのか。  
b. なぜ A-type の QP は、 $\alpha$  が PF において  $\beta$  に先行していなければ成り立たないような連繋  $R(\alpha, \beta)$  の  $\alpha$  になれないのか。
- (11) a.  $FD(\alpha, \beta)$  は、具体的には、どのように連動読みに結びつのか。  
b.  $ID(\alpha, \beta)$  は、具体的には、どのように連動読みに結びつのか。

### 9.5.2. FD の解釈と $large\ NP / small\ NP$

- (12) a. そこの子会社を どの自動車会社も 推薦した。  
b.  $x$  ( $x =$  自動車会社) [ $x$  が  $x$  の子会社を 推薦した ]
- (13) a. ?\*その自動車会社の子会社を どの自動車会社も 推薦した。  
b.  $x$  ( $x =$  自動車会社) [ $x$  が  $x$  の子会社を 推薦した ]
- (14) Every logician was walking with a boy near that logician's house.
- (15) a. Every linguist insisted that John had demanded a special evaluation of him.  
b. Every linguist insisted that John had demanded a special evaluation of that linguist.
- (16) a. [Which evaluation of him]<sub>1</sub> did every linguist insist that John had demanded  $t_1$  ?  
b. [A special evaluation of him]<sub>1</sub>, every linguist insisted that John had demanded  $t_1$  .
- (17) a. ?\*[Which evaluation of that linguist]<sub>1</sub> did every linguist insist that John had demanded  $t_1$  ?  
b. ?\*[A special evaluation of that linguist]<sub>1</sub>, every linguist insisted that John had demanded  $t_1$  .

### 9.5.3. ID の解釈と A-type QP / B-type QP

- (18) a. Every farmer who owns a donkey beats it.  
b. If a farmer owns a donkey, he always beats it.
- (19) ?\*Who does his mother love?
- (20) a. ?Which student<sub>1</sub> did that student's professor recommend  $t_1$  for a lucrative project?  
b. ??Which student<sub>1</sub> did his professor recommend  $t_1$  for a lucrative project?  
c. ?Which one of these boys<sub>1</sub> did his wife divorce  $t_1$  ?  
d. ?No matter which one of those guys<sub>1</sub> his wife might divorce  $t_1$  , I would hire him.
- (21) a. Which logician was walking with a boy near that logician's house?  
b. No logician was walking with a boy near that logician's house.
- (22) a. ?\*Even this logician was walking with a boy near that logician's house.  
cf. Even this logician was walking with a boy near his house.  
b. ?\*Even Toyota has sued that company's subsidiary.  
c. ?\*Even that company has sued that company's subsidiary.